

港南造形タイムズ

第22号

熱血献血キャンペーンで本校生が活躍！！

NHK 2月18日放送

毎日新聞 2月16日掲載、朝日新聞、読売新聞、産経新聞 2月19日掲載



2月15日と18日に、府立港南造形高校の生徒が熱血献血キャンペーンに参加しました。

発端は平成22年9月上旬の大阪府健康医療部薬務課からの「熱血献血キャンペーン」のポスターコンクールへの出品の打診。打診を受けて、ポスター制作だけでなく、大阪府の献血の現状やその意義を学ぶ講演会(放課後)や、講演会を聞いた上で希望者によるボランティア活動(校外活動)等を行うなど、「自分のデザイン・制作が社会とどのような関わりを持つのか」を実感できる取組みにできないかと薬務課に提案しました。その上で、ポスターを2年領域「イラスト」の授業課題

として取り組むこととしました。

10月上旬に、大阪府赤十字血液センター、薬務課、本校の担当でボランティアの内容について協議し、講演会については年明けに希望者を対象に実施、ボランティア活動は献血者が減る1月末から2月始めに実施、ボランティアは献血バス、もしくは献血ルーム前での街頭呼びかけを行うことについて検討。本校からは、献血をしてくださった方への本校生徒制作のしおりをプレゼントすることや街頭で配るチラシ・ティッシュのデザインをすること提案しました。薬務課からは本校生徒の特技を生かして、イラストや似顔絵のプレゼントをしてはどうかという提案がありました。

10月末、2年領域「イラスト」の授業で制作した献血推進ポスター53点を薬務課に提出。12月上旬、優秀賞2作品、入賞6作品合わせて8名が選ばれ、優秀賞2名が府庁で表彰されました。

平成23年1月末、放課後約一時間の講演会を実施。ポスターコンクールの結果発表、献血についての講演、難波献血ルーム「まいど」でのボランティア活動の説明をしました。ボランティアには、1年2名、2年23名が参加を希望。チラシは本校の優秀賞作品2点を掲載して制作し、

大阪府赤十字血液センターで3000枚印刷していただきました。しおりは53枚のポスターを原画にして1000枚を本校で印刷しました。似顔絵・イラスト用の用紙(はがき仕様)は本校で100枚制作し、イラスト授業担当者が、ボランティア希望者に放課後、似顔絵の指導をしました。

2月15日、1回目の街頭キャンペーン、および献血ルーム内でのしおりのプレゼント。生徒12名と付添い教員2名が参加。

2月18日、2回目の街頭キャンペーン、および献血ルーム内でのしおりのプレゼントと似顔絵。生徒15名と付添い教員2名が参加。

<優秀賞の2作品>



<似顔絵・イラスト用紙>

POST CARD

□□□-□□□□



まいど 「ありがとう! 献血」
なんば献血ルーム 電話 06-6649-2277

このPOST CARDのイラストは、大阪府立港南造形高等学校の学生ボランティアが描きました。
港南造形のHP: <http://www.osaka-c.ed.jp/konanzokei/>

□ 表面



□ 裏面

是非、献血にご協力ください！
府内の献血場所(当日と翌日)をフリーダイヤルでご案内しています。
0120-524-133
この葉の図案は大阪府立港南造形高等学校の学生作品です。

飛び込め「夢の海」

読売新聞 2月13日掲載



吹田市立山田第三小学校の通りに面したプールの外壁に、「まちなか水族館」と題した壁画が完成しました。

この壁画は、吹田市の市制70周年を記念した「地域の芸術祭」の一環として企画されたもので、府立港南造形高校の生徒がボランティアとして参加して、周辺の8つの小学校の児童とともにクジラの絵などを描きました。

第22回読書感想画中央コンクールで 本校生2名が入選、本校も学校賞を受賞！！

毎日新聞 2月3日掲載

第22回読書感想画中央コンクールで、本校3年生の吉岡ルリ子さんが優良賞を、勝間隆介さんが奨励賞を受賞しました。

同コンクールは子どもたちが本を読んだの思いを絵画で表現するもので、吉岡さんは作品とインタビューが2月25日の毎日新聞に掲載されています。

作品は、アフガニスタンの少女ビビが、戦争状態の社会で懸命に生きる姿を書いた帚木蓬生の小説「ソルハ」が題材で、ビビが感じた絶望と平和への思いが水彩画で表現されています。「ソルハ」は現地のことばで「平和」を意味します。

吉岡さんは、港南展（卒業制作展）の会場の城見ホールで新聞記者からインタビューを受け、「信じられないくらいうれしい。」と語っていました。